

第3回

守れ！イチモンジタナゴ！！プロジェクト報告書

開催日：平成28年3月26日（土）

時間：13時30分～15時

※講演会 14時～14時30分

場所：動物園レクチャールーム，噴水池

参加人数：タナゴプロジェクト 10名（事前申込14名のうち4名欠席）

講演会 69名（一般来園者，プロジェクトメンバー）

運営スタッフ：釜鳴，高木，精華大学板倉ゼミ学生

内容：・噴水池でペットボトルモンドリによる生物調査

・琵琶湖博物館 松田征也氏による講演

「守ろう！イチモンジタナゴ –タナゴ類の生息域外保全–」

前回，自分で作ったペットボトルモンドリに餌を入れ，動物園内の噴水池に仕掛けます。おびき寄せるための餌にタナゴの餌やプレコの餌，赤虫，エビ，ミジンコ，練り餌，パンなど用意しました。去年の11月に放流したヤリタナゴが捕まれば大当たりです！ヤリタナゴには放流したときに蛍光色の目印を付けているので，モンドリに入ればすぐ分かるはずです。



みなさんどの餌を使うか考え中です。どんな生き物が捕まるか楽しみです。



思い思いの場所にモンドリを仕掛けます。そして約30分間生き物がかかるのを待ちます。ちなみに左ふたつの写真で立っているその石は、平安時代末期に園内に建立された法勝寺八角九重塔の基壇に使用されていたと考えられています。

モンドリを仕掛けた後、本日のメインイベントである琵琶湖博物館よりお招きした松田征也氏の講演会がはじまりました。一般来園者も対象にした講演会で、少しでも多くの方がイチモンジタナゴについて知ってもらうために開催しました。



琵琶湖博物館の総括学芸員で事業部長もされており、イチモンジタナゴについてとても詳しい方です。



たくさんの方が参加され、イチモンジタナゴの生態や現状、守ることの大切さなど多くのことを学ぶ機会となりました。きっとあまり馴染みのなかった魚だとおもいますが、今回の講演で何か感じていただけるだけでうれしく思います。

講演終了後、再びプロジェクトメンバーだけで、仕かけたモンドリに生きものが掛かっているか引き上げに行きました。



木にむすんでいたヒモをほどき、中を確認してみると…何が入っていたのでしょうか？



アメリカザリガニでした。ちなみに赤く見えるのは餌のエビ等です。

噴水池には近年アメリカザリガニが増え困っているのですが、もうこの時季から活動しはじめているんですね。今回の調査ではヤリタナゴなど他の魚類を確認できず、プロジェクトメンバーも残念そうでしたが、また違う時季や場所、餌を変えると変化があるかもしれません。今後に期待したいところです。

今回で、第一期の活動は終了となりましたが、「守れ！イチモンジタナゴ！！プロジェクト」は続きます。第二期のメンバーも募集中（平成 28 年 4 月 8 日まで）ですので、これからもみんなでイチモンジタナゴについて学び、守っていきましょう！



この活動は、公益財団法人自然保護助成基金第 26 期（2015 年度）プロ・ナトゥーラ・ファンド助成による支援を受けて行われています。